

## 削減計画実施状況報告書（内容）

事業所名	独立行政法人 国立がん研究センター東病院
事業所の所在地	柏市柏の葉6-5-1
事業所の主たる業種及び事業概要	病 院
報告期間	平成 <sup>25</sup> <del>24</del> 年度分
温室効果ガス排出量報告	<p>◎基準年度 <u>11,618</u> t-CO<sub>2</sub> ( 24年度)</p> <p>◎当該年度 <u>12,049</u> t-CO<sub>2</sub> (内訳は別紙1)</p> <p>◎対基準年削減量 <u>431</u> t-CO<sub>2</sub> 増加</p> <p>◎削減率 <u>3.71</u> % 増加</p> <p>◎目標年度 <u>11,502</u> t-CO<sub>2</sub> ( 27年度)</p>
温室効果ガス削減実施内容 (増加している場合は、その理由と今後の対策も記入する)	<p>&lt;具体的に記入する(別紙も可)&gt;</p> <p>① 平成23年の東日本大震災・福島原発事故後電力の逼迫に伴い、23年度・24年度は診療に影響が及ぼさない中で最大限の節電行動計画を策定し実施したが、25年度は例年の節電項目の実施に留まった為、下記に示す②③項の影響を受け節電の効果が出なかった。</p> <p>② 年々外来患者数が増加してきている。それに伴い、一日の診察・診療時間が長くなり設備・機器の稼働時間の増大につながっている。</p> <p>③ 設備・機器の増設。特に電力の逼迫に伴って急遽導入計画した常用発電機(ガソリン700kW、6月から実運転を開始)は、コージェネレーションではなく発電のみで補機電力の増加分もありエネルギー効率が悪いがピークカットとして稼働させている。上記3件の関係から増加した。</p> <p>現在、外来部署の増築工事を実施しており8月より開設となる。また、診療・研究機器の増設等も計画されていることから温室効果ガス排出量は増加傾向となると考えられる。</p>

	<p>今後の対策として、例年実施の節電項目以上の節電方策の実施、現在実施している避難誘導灯のコンパクトスクエア型への更新の継続、一般場所蛍光灯照明のLEDランプ・器具への変更、緩和ケア病棟の空調機器の省エネ機器への更新等を計画し電力の削減により温室効果ガスの排出量削減につなげたい。また、今後老朽化設備等の更新時には高効率設備・省エネ機器の採用を実施していく。</p>
--	--